

こんにちは いつもお世話になっております
三栄です

新年あけまして

おめでとうございます
本年もどうぞよろしく

お願い申し上げます

株式会社三栄サービス

代表取締役 紺野 琢生

年々、新聞購読者数や雑誌の発行部数減少が進んでいます。郵便料金の値上げで年賀状じまいをされる方が増えたり、お中元やお歳暮、暮れの挨拶の菓子折りを廃止する動きもあるように、ペーパーレスが一気に進行した感があります。脱プラスチックとして象徴的だったスターバックスの紙ストローも廃止するとのニュースがありました。ボックスステーションも紙の箱からソフトパックの方が増えてきています。『脱プラスチック』はどこに行ってしまったのでしょうか？

一方で、インターネット通販の普及で家庭から発生する段ボールは堅調に推移しています。新聞の減少はやむなしとして雑がみは、ごみ化から救出してしっかりと回収、リサイクルしていく必要があると改めて感じています。可燃ごみの日は週二回、古紙の日は週一回から月一回と収集頻度も少ないですし、雑がみや段ボールはどうしても嵩張ります。箱をつぶすのもなかなか面倒です。市民の皆様には、お手間をおかけしますが、貴重な紙資源を活かしていただくためにご協力をいただきましたと思います。

雑がみとは、新聞・雑誌・段ボール・牛乳パック以外のリサイクル出来る紙類のことで、チラシ、パンフレット、包装紙、

第87号

発行元



株式会社三栄サービス

発行人 紺野 琢生



紙箱、紙袋、メモ用紙、ノート、封筒、ハガキ、手紙、ラップやトイレットペーパーの芯、ポスター、カレンダー等があります。

ただ、古紙には、リサイクル出来ない禁忌品があり、分別もなかなか難しいと感じている方も多いと思います。この禁忌品には、混入が認められないA類と、0・5%程度の混入が許容されるB類があります。

混入が認められない禁忌品A類

※ファイル・バインダー・カレンダーなどの会員やダイレクトメール等のビニール包装は取り外しましょう
※分別や排出方法は自治体の方法に従ってください。

公財)古紙再生促進センターホームページより転載

忌品A類でご家庭から発生するものは、そもそも紙ではないもの(木の板、割りばし、プラスチックのファイル、CDなど)と、臭いのついた紙(線香や洗剤の箱など)、油染みや食品残渣のついた紙(ピザの箱など)、アイロンプリント紙などです。これはしっかりと分別をお願いします。

一方、禁忌品B類には、感熱紙、ノンカーボン紙、金紙・銀紙、シールの台紙などがあります。また、混入すると製品トラブルの原因になります。ご家庭から多少混入する位であれば問題にはなりません。恐れず、勇気をもって雑がみをごみ化から救出し、リサイクルを進めて参りましょう。

本年も、燃料費を始め諸物価が高騰し大変厳しい状況ではありますが、地域のリサイクルから地球環境保護を目指して取り組んでまいりますので、よろしくお願いします。